

事例3

<事例概要>

- ・ 高齢により食事摂取困難な患者。意思疎通困難。
- ・ 死因は、気胸に関連する循環動態の変化、胸腔内出血（推定）。死亡時画像診断（Ai） 無、解剖無。
- ・ 末梢血管確保が難しいため、輸液血管の確保の目的で、ランドマーク法により内頸静脈や鎖骨下静脈から中心静脈カテーテルの挿入を複数回試みるが、中心静脈への挿入はできなかった。動脈穿刺は数回あった。さらに、鼠径部からも試みたが挿入できず中止した。終了約40分後に撮影した胸部単純CTで右気胸を認め、脱気したが効果はみられず、心肺停止となり死亡した。